

令和5年度岡山県農林水産総合センター 水産研究所 機関評価結果票

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 2人	優れている 2人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 上位プランに基づいて重点分野を明確にし、課題に取り組んでいる点が評価できる。 2. 運営方針は妥当。人員と予算が限られている現状では重点分野を絞るのはやむを得ない選択。 3. 県民や社会のニーズに応じた対応や課題設定が十分になされている。 4. 運営方針、重点目標とも内容は妥当であるとする。可能であれば、重点目標の具体的な数値目標などがあれば、なおいいのではないか。 5. ブランド化は消費者へのアピールとして有効だと思う。					
2 組織体制及び人員配置並びに 予算配分	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 任用職員の増加や今後の定年延長による研究員の高齢化が気になる。 2. 単県研究費が激減している。人員面でも予算面でも研究体制の維持・強化に努めて欲しい。 3. 色々な提案により受託費を確実に確保してほしい。 4. 体制と人員配置は妥当と思われるが、研究室相互の一層の連携に期待したい。単県予算が少ないことを危惧する声が委員会が出たが、やむを得ない事情は理解できる。 5. 外部資金の獲得実績は高く評価される一方で、単県研究費の減少傾向が続いていることは改善が望まれる。 6. 予算に対して、研究開発の効果が、どの程度あったか数字で表せると分かりやすいと思う。					
3 施設・設備等	非常に優れている 2人	優れている 2人	妥当 1人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 新棟を、見学受け入れなど水研PRの目玉として十分活用して欲しい。 2. 分析装置等は、予算の許す限り最新のものを導入し、正確性と省力化に努めて欲しい。 3. 新施設や高額な備品を十分に活用して立派な成果を上げて欲しい。先端分野では機材の有無で成果が決まることも多い。 4. 施設・設備ともに充実化が実現しており、最新の研究にも対応できる状況にある。これらの施設・設備等が活用されて研究成果が着実に出ていくことは高く評価される。 5. 古い施設・機器の更新を進め、研究に生かしていただきたい。					
4 研究成果	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 豊かな海づくり推進のため、管理運転効果調査など栄養塩関係の成果の活用に期待する。 2. 2017年から21年まで低水準だった学会誌等への投稿が22年度に増えていることを評価したい。今後も努力を続けて欲しい。 3. 各研究課題の達成目標に応じた研究成果が出ている。学会等への発表数・論文投稿数が増加傾向にあることが高く評価される。 4. 多岐にわたる研究で成果を挙げており評価できる。漁業者だけでなく、県民にどういった点で貢献できるかを念頭に置いて進めていただきたい。					

5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、 依頼試験、情報提供等所掌業務の実施状況	非常に優れている 1人	優れている 3人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 成果発表会や見学受け入れの増加など、引き続き情報発信に務めて頂きたい。 2. 件数、人数の推移、維持に努力が読み取れる。評価したい。 3. 十分な件数の技術相談・指導実績があるとともに、見学・研修会、中学生職場体験学習や研修生の受入も行われており、開かれた研究所として重要な役割を果たしていると判断できる。 4. 成果研究発表がコロナ禍で、中止やWEBになってしまったのが残念だ。一般向けの成果発表や見学、研修に力を入れ、知名度アップを図ってほしい。 5. 新型コロナウイルスが5類に移行したこともあり、交流の場が増えることを期待します。					
6 人材育成	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. ノリ・カキ養殖指導のスペシャリストを養成して頂きたい。 2. 学会や研修会等への派遣数について、十分な実績があると評価される。学位取得を目指している職員が見られることも高く評価され、そのような職員に対するさらなる支援が望まれる。 3. 新型コロナの影響で難しかった点は想像できるが、積極的な研修や学会参加をお願いしたい。 4. 研究したことが実践できる柔軟な人材育成に期待します。					
7 他機関との連携	非常に優れている 1人	優れている 2人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 隣県との連携だけでなく、先進県や水研機構等とも協働で進めている点は評価できる。 2. 連携の効果を活かして、迅速な成果の獲得に繋げて頂きたい。 3. ホームページに頼り過ぎない情報発信に期待したい。 4. 国・県等の複数の他機関との連携がなされている。県内の他機関（大学・民間等）とも、何らかの連携が実現するとよいかもしいない。 5. 同じ問題に取り組む他機関との関係は、研究の効率化にもつながると思う。共同研究など、積極的に進めてもらいたい。					
8 県民・地域への貢献	非常に優れている 2人	優れている 1人	妥当 2人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 海水温等の環境データの提供を引き続き実施して頂きたい。 2. 海水温予想は精度も上がり良い。栄養塩の予想も実施して頂きたい。 3. HPでの情報発信の更新頻度を上げてはどうか。 4. 研究成果発表会のほか、県民の研修活動等の支援を通じて、県民に対して積極的に貢献していることが評価される。特に小学校への出前授業は、次世代に対して水産物への興味関心を高める効果も期待され、今後も引き続き積極的に進めていただきたい。情報発信も適切である。 5. ホームページによるさまざまな情報発信や、研究発表が一般の県民に届いているかは疑問だ。どうすれば研究所の存在意義を伝えられるか知恵を絞っていただきたい。					
9 前回指摘事項への対応	非常に優れている 1人	優れている 3人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 適切に対応されている。 2. おおむね妥当と考える。					

総合評価	非常に優れている 1人	優れている 3人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現場のニーズに沿った研究課題が選定されており、一定の成果もあり評価できる。 2. 水産研究所のおかげで、魚が増えたとか収入が増えたとか漁業者に実感してもらえるような、将来の豊かな海に繋がっていくよう頑張ってもらいたい。 3. 藻場の再生とクロダイによるノリ・カキの食害対策は、現場でよく聞く喫緊の課題であると感じているので、研究推進に尽力して頂きたい。 4. 単県予算が乏しいなか外部資金を活用して成果を上げている点を高く評価したい。種苗生産事業については不断の見直しが必要と思われる。 5. 研究施設・設備の充実化が実現し、岡山県の水産業の発展に有益となる様々な事業が進められている。有用な研究成果も得られていることから、総合的には非常に優れていると評価される。 6. 岡山県産の水産物の美味しさや魅力について、積極的な普及が行われているが、地元水産物に関心のない県民までには十分に伝わっているとは言えない状況もある。水産物にあまり関心をお持ちでない県民に対して、いかに魅力を伝えていくかも重要になると思われる。 7. 研究内容は素晴らしく、漁業に対する貢献度も十分だと思う。ただ、県民に伝わっていないのがもったいない。消費者の希望（例えば、どんな魚が増えるといいか。どうすれば魚を食べるかなど）を出発点にした研究があっても面白い。県民目線に立ち、かつ県民に親しまれる研究所にしていきたい。 8. 現状は厳しく日々新たな問題がおきていることと思います。1人の消費者として何ができるのか、また、より消費していくためにはどうすればいいのかなどを考えることも大切だと思いました。そういうことを気軽に話し合い共有する場作りも必要かもしれません。 					

注意事項

各評価委員の評価内容を基に、重複する評価内容をとりまとめて記載する等、2～3枚程度でとりまとめてください。また、この資料は、HPで公表されるとともに、農林水産委員会等の資料として使用予定ですので、特定の個人を指す事例や特許取得等に支障がある内容は表現を改める等、個人情報の保護や知的財産権の取得等に支障がないよう、配慮してください。